

1

領域：人間と社会  
人間の尊厳と自立



次の記述のうち、介護福祉職がアドボカシー（advocacy）の視点から行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護を行う前には、利用者に十分な説明をして同意を得る。
- 2 利用者の介護計画を作成するときに、他職種に専門的な助言を求める。
- 3 利用者個人の趣味を生かして、レクリエーション活動を行う。
- 4 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り、その実現に向けて働きかける。
- 5 視覚障害者が必要とする情報を、利用しやすいようにする。

1	人間の尊厳と自立	4
---	----------	---

1 ×

アドボカシーの視点ではないため、不適切です。

2 ×

アドボカシーの視点ではないため、不適切です。

3 ×

アドボカシーの視点ではないため、不適切です。

4 ○

アドボカシー (advocacy) とは、利用者の思いなどについて、利用者に代わって「代弁する」ことです。「代弁する」ことで利用者の権利を守ります。

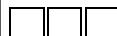
介護福祉職が利用者の言い出しにくいことを、くみ取り、働きかけることは「代弁する」といえ、適切です。

5 ×

アドボカシーの視点ではないため、不適切です。

2

## 人間の尊厳と自立



Aさん（83歳、女性、要介護3）は、脳梗塞（cerebral infarction）の後遺症で左片麻痺があり、介護老人福祉施設で生活している。家族から、「できることは自分で行ってほしい」と希望があり、Aさんは自室から食堂まで車いすで自走することを日課としている。

1週間前から、介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。数日前からAさんは実習生に、「今日は腕が痛いので、食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は、実習指導者に相談をした。

実習生に対する実習指導者の最初の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Aさんの腕は痛くないので、気にしないでください」
- 2 「どのようなときも、Aさん自身で行ってもらうことが必要です」
- 3 「ご家族から自分で行うように、言われています」
- 4 「それは自立につながらないので、車いすを押さないでください」
- 5 「Aさんが依頼する理由を、まず考えてみることが大切です」

2	人間の尊厳と自立	5
---	----------	---

1 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

2 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

3 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

4 ×

Aさんの思いを尊重していないので不適切です。

5 ○

利用者の自立支援は大切ですが、いつもできていることが今日はできないこともあります。大切なのは、なぜそのようなことを言われたのか、理由を確認することですので、適切です。